

『授業連携報告書』

授業のテーマ

月ってどんなところ

目標(授業連携をした目的等)

宇宙に関するクイズに答えたり月球儀を作る活動を通して、「天体」や「宇宙開発と生活」ということに関心を持つ。

実施対象	学年	6年	1	クラス	合計	35	名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)					
単元	月と太陽		授業日	10	月	16	日

授業連携の前後の授業内容について

前	太陽と地球、月の大きさを模型を使って比較する。太陽と地球の距離を考える。
後	月の形の見え方と太陽の位置との関係 宇宙開発と私たちとのかわり

時間配分	学習内容・活動	子供の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 5分	JAXAについて ・講師紹介 ・JAXAってなに?	JAXAについて知らない子がほとんどだったので関心を持って聞いていた。	前時に考えた質問を思い出し、その答えを探しながら聞くこと、新たな疑問が生まれれば最後に質問することを伝えた。
展開 75分	宇宙に関するクイズ ・月球儀作成	・クイズのヒントとなるような様々な映像をみせてもらい、一生懸命考えていた。 ・クイズを通して宇宙の定義や広さなどを楽しみながら学習していた。 ・「ミタカ」のソフトを使って宇宙空間をズームアウト(イン)していく映像がとても印象的だったようで大きな歓声が聞こえた。 ・きれいに仕上がるように集中してシールを切ったり、丁寧に貼ったりしていた。 ・月球儀が出来上がると、スクリーンに映された地球から見える月と同じになるように、映像を手掛かりにして地球から見える面を考えていた。	・子どもたちと同じようにクイズに参加。 ・子どもの様子を見ながら話が理解できにくそうな点は少し補足した。 ・月面図をシール用紙に印刷しておく。スチロール球を準備しておく。 ・作業手順の説明。 ・作業の遅い子を手伝う。
まとめ 10分	質疑応答	・月に関して不思議に思ったことを質問していた。 ・「人が住めそうな星がある」と聞き、とても驚いていた。	講師先生へのお礼をして授業をとじた。

授業連携の感想・メモ

- ・子どもたちの質問を事前に講師先生に伝えてあったので、先生のお話の中に上手に入れ込んでいただくことができてよかった。
- ・映像やクイズを織り込んでいただくことで楽しくわかりやすい学習になった。
- ・月球儀のシール貼りのポイントを伝えることでどの子もきれいに貼ることができてよかった。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか?	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか?	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。 自分で作った月を使っての学習となつて、積極的に授業に取り組む子が多くいた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	